



桂川の歴史探訪

1889

桂川村発足

当時の瀬戸村・寿命村・中屋村・豆田村・九郎丸村・土居村・吉隈村・土師村・内山田村の九カ村が合併し、桂川村が誕生した。当時の村の人口は、3148人(戸数560)。

1964

町報けいせん発行開始

広報けいせん(昭和60年4月にタイトル変更)の第1号がこの年の7月に発行。当時の町報はB4サイズのザラ紙一枚の片面にガリ版印刷で印字したものでした。住民の皆さんの生活に関するお知らせなどに特化した町報でした。



1971

平和、団結、円満を表現した町章

町制施行30周年の節目の年となり、石炭の町から新しい町へと脱皮しようとする桂川町にふさわしいシンボルマークとしての町章を制定。図案募集したところ、全国から302点もの力作が集まりました。



1972

最後の「ご安全に」…炭鉱閉山

昭和47年11月29日、明治18年の開削から88年、地底の坑道へ入って行く鉱員の家族が毎回送った「ご安全に」の言葉も、平山炭鉱の閉山とともに桂川町から消えてしまいました。



1968

篠栗・桂川線開通

5月25日午前6時28分、篠栗・桂川線開通の桂川駅発の一番列車が発車。これ以降桂川駅は旧嘉飯山地域における福岡都市圏への玄関口として大きく変貌していきます。



桂川年表

西暦	明治	昭和
一八八九	二十二	町制施行による旧九村合併、桂川村発足
一八九五	二十八	飯塚・白井駅間鉄道開通
一九〇一	三十四	飯塚・長尾駅間鉄道開通
一九二八	三	桂川村役場落成
一九三四	九	王塚古墳発見
一九四〇	十五	町制を施行、長尾駅を桂川駅に改称
一九四七	二十二	桂川中学校開設、桂川小学校吉隈分校開設
一九五二	二十七	桂川国民学校を桂川小学校に改称
一九五八	三十三	王塚古墳、国の特別史跡に指定
一九六四	三十九	桂川小学校吉隈分校独立、桂川東小学校となる
一九六七	四十二	社会福祉協議会設立
一九六八	四十三	桂川町誌発行
一九六九	四十四	国鉄篠栗線開通、桂川町公民館落成
一九七〇	四十五	桂川町誘致企業第一号操業開始
一九七一	四十六	第一回桂川町文化祭開催
一九七二	四十七	桂川町上水道事業開始
一九七五	五十	町章制定、第一次桂川町総合計画策定
一九七七	五十二	町内の炭鉱が終閉山
一九七八	五十三	隣保館落成
一九七九	五十四	桂川小学校新校舎落成
一九八〇	五十五	土師保育所、社会福祉会館落成
一九八一	五十六	天道工業団地造成
一九八二	五十七	吉隈保育所落成
一九八三	五十八	桂川中学校新校舎、解放センター落成
		第二次桂川町総合計画策定
		第一回みんなの健康展開催
		天道スポーツ公園完成
		桂川消防署庁舎落成
		老人福祉センター「桂寿苑」落成
		商工会館、桂川勤労者体育センター落成
		保健センター落成、湯の浦森林公園完成